



【宮前小学校】

<第2学年：地域に根付く伝統を知ろう（ふるさと再発見）>

○ ねらい

宮前地区に古くから伝わる伝統芸能「虎舞」を学ぶことにより、地域に伝わる「たから」を大切にしていこうとする思いを持つ。

○ 活動内容

古三津虎舞保存会の方々を招いて、伝統芸能「虎舞」を鑑賞した。その後、保存会の方から「虎舞」の由来やどのように伝えられてきたのかを教えていただいた。

【「虎舞」の由来】

松山城主加藤嘉明が朝鮮出兵の際、山中で虎狩りを行い、仕留めた虎を豊臣秀吉に献上して大いに喜ばれた。その虎狩りに古三津地区出身の人が多数参加しておりふるさとにその様子を伝えるために舞ったのが「虎舞」だといわれている。

2年生の児童は、「虎舞」に愛着を持って舞い方を学び、練習をした。宮前フェスティバルでその「虎舞」を披露して、ふるさとでの伝統の良さを伝え、地域を大切にしようとする心が育った。



<第4学年：心をつないで>

○ ねらい

障がいのある方や高齢者のくらしに目を向け、調査活動や体験活動を通して、共に生きようとする心情を育み、自分にできることを考え、実践しようとする態度を育てる。

○ 活動内容

障がいのある方や高齢者の疑似体験や車椅子を使つての介助体験を行い、こういった方々の暮らしには、どんなことが必要かを考えた。そして、障がいのある方を学校に招き、実際の生活の様子や、町で活動するときに困ることなどについて話していただいた。障がいのある方々と交流することにより、自分たちの町が誰にとっても住みやすく優しい町になってほしいと児童は考えた。

その後、自分たちの学校や町は障がいのある方や高齢者にとって、優しい町になっているかを調べ、人が優しい町にするために自分たちにできることを実践しようとする態度が育った。

